

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p>		<p>新年になり多くの人の「上昇気分」を感じるが、地方都市にてヒアリングをすると、景気改善を体感していない企業・個人が多い。為替の影響が大きいため、地方都市では海外からの観光客の増加が良い変化として聞こえてくる。一歩王で加速する円安により、海外へ出かける人が減っていることもあり、日本の今後の人材育成に与える影響を懸念する。</p>
デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組			
2-1	<p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧いただき、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>経済好循環の為に「女性が働きやすい制度等への見直し、労働市場改革等の推進」を強化・加速することが必要です。このテーマは単に「女性の労働者が増える」ということではありません。男性の労働時間改革、生産性向上、ダイバーシティ経営によるプロダクトイノベーション、プロセスイノベーションの促進、出生率アップ、女性管理職・役員が増えることで企業文化の変革など、様々な経済・社会メリットがあります。女性にとどまらず、大胆な雇用改革の促進が必須です。</p>
2-2	<p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p>	-	<p>働く女性が増えることで出生率が上がるというデータは、国内外様々あります。米国企業において女性役員が3名以上であると経営指数が高いというデータ。</p>